

第 6 章. 実現化方策

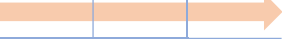
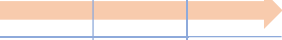
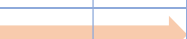
1. まちづくりの将来像や計画の目標の実現に向けた施策展開の方向性

- 全体構想における各分野の方針に基づき、都市計画として対応すべき事項や主要な施策を定め、まちづくりの将来像や計画の目標の実現に向けた施策を推進します。
- なお、主要施策の実施予定時期を、下記の区分で整理しています。
 - ・ 短期：おおむね 5 年以内に実施または検討に着手する予定の施策
 - ・ 中期：おおむね 10 年以内に実施または検討に着手する予定の施策
 - ・ 長期：おおむね 10 年後以降に実施または検討に着手する予定の施策

1-1. 土地利用構想に関する主要施策

主要施策	実施予定時期		
	短期	中期	長期
・用途地域等の見直し検討	→		
・特定用途制限地域の指定検討	→		
・幹線道路沿道を対象とした、建物用途の制限等に関する研究・検討	→		
・中心市街地活性化計画に基づく事業の推進	→	→	→
・立地適正化計画に位置づけた各種誘導施策の実行	→	→	→
・畠町大通りの歩道等を活用したイベントの開催支援	→	→	
・既存住宅のリフォーム等支援	→	→	→
・空き家等の利活用の促進	→	→	→
・空き店舗の利活用を促進する賃借者・賃貸者・取得者への補助	→	→	→
・工業団地の適切な維持・管理	→	→	→
・能代港の機能強化・整備等の促進	→	→	→
・新たな工業団地の検討・整備	→	→	→
・企業誘致活動の推進	→	→	→
・農地法、農振法の適切な運用に基づく優良農地の保全	→	→	→
・ほ場整備の推進	→	→	→
・農業水利施設の有効活用や長寿命化	→	→	→
・森林整備計画等に基づく森林環境の保全	→	→	→
・市民等が実施する森林の保全活動等への支援	→	→	→
・河川改修等の治水対策の促進	→	→	→

1-2. 交通体系構想に関する主要施策

主要施策	実施予定時期		
	短期	中期	長期
・日本海沿岸東北自動車道の整備促進			
・西津軽能代沿岸道路の計画路線への位置づけに向けた働きかけ			
・竹生バイパス（国道 101 号）の整備促進			
・荷上場バイパス（一般県道西目屋二ツ井線）の整備促進			
・国道の交通安全対策や適切な維持管理等の促進			
・主要な県道の交通安全対策や適切な維持管理等の促進			
・都市計画道路の計画的な整備推進			
・長期未着手の都市計画道路を対象とした都市計画の見直し			
・既存道路の計画的な整備および維持管理・更新			
・施設の利用状況等を踏まえた対策の検討 （通行規制等、修繕・更新、集約・撤去）			
・通学路安全推進会議における定期的な合同点検			
・交通安全対策の推進			
・歩道等のバリアフリー化対策			
・「居心地が良く歩きたくなる」空間づくり			
・畠町大通りの歩道等を活用したイベントの開催支援【再掲】			
・持続可能な体系の構築のための地域公共交通計画の策定（地域公共交通網形成計画の改定）			
・高齢者を対象としたバス利用支援			
・公共交通利活用ガイドの作成・更新			
・バスの乗り方教室の開催			
・鉄道の利用状況に応じた運行の確保			
・路線バス・鉄道等との乗り継ぎ環境の改善 （路線バス等に関する交通連携情報の発信等）			
・奥羽新幹線および羽越新幹線の実現に向けた働きかけ			
・バス路線の見直し、代替手段の検討			
・デマンド型乗合タクシーの利便性向上			
・スクールバスの運行			
・スクールバスや福祉バス、病院送迎バス等の活用検討			
・新たな交通システムの導入可能性の検討			

取組	重点的に実施する地区等	実施主体	実施時期（目標）		
			短期	中期	長期
自主防災組織の結成・活動支援、防災講座の開催	—	市			
防災教育の充実、防災教育に関する指導力の向上を図るための研修の実施	—	市			
「能代市総合防災訓練」の実施	—	市			
情報伝達手段の充実化および活用の周知	—	市			

6. 数値目標の設定

- 立地の適正化に関する基本的な方針の実現に向け、各種施策の実施による成果や効果を点検・評価するための指標を、以下のとおり設定します。
- 成果や効果の点検・評価は、おおむね5年ごとに実施します。

6-1. 成果目標

- 各種施策の実施による成果目標に関する指標を以下のとおり設定します。

	指標	基準値	中間目標値 2030年	目標値 2040年
居住の 誘導に関する 目標	■ 総人口に対する居住誘導区域内 人口の割合 ： 中心拠点の拠点性を確認するた めの指標	34.0% ： 2015年	基準値以上	基準値以上
都市機能の 誘導に関する 目標	■ 誘導施設数 ： 中心拠点の都市機 能の集積状況を確認 するための指標	能代地域 中心拠点 ● 件 ： 2020年	基準値以上	基準値以上
		二ツ井地域 中心拠点 ● 件 ： 2020年	基準値以上	基準値以上
公共交通 に関する目標	■ 巡回バスの1便平均利用者数 ： 中心拠点へのアクセス性の確保状 況を確認するための指標	11.1人/便 ： 2019年	10.0人/便	10.0人/便
防災 に関する目標	■ 市道改良率 ： 災害に強い道路ネットワークの構 築状況を確認するための指標	58.2% ： 2020年	60.0%	62.0%

●●：基準値等を確認中の指標

6-2. 発現が期待される効果

- 各種施策の実施により、発現が期待される効果に関する指標を以下のとおり設定します。

指標	基準値	中間目標値 2030年	目標値 2040年
■ 居住誘導区域内の未利用地面積 ： 居住誘導区域内の未利用地の活用や新たな発生の抑制により、未利用地面積の減少が期待される	31.0ha ： 2016年	基準値以下	基準値以下
■ 居住誘導区域内の平均地価 ： 居住誘導区域内のエリア価値を高め ていくことで、地価の維持・上昇が期待される	能代地域 中心拠点	19,767円/㎡ ： 2021年	基準値以上
	二ツ井地域 中心拠点	10,488円/㎡ ： 2021年	基準値以上